

町民の広場



倶知安消防団 第一分団
部長 高橋 宏幸さん
(52歳)

私は倶知安消防団に入団し22年になります。消防団員は、普段は商売を営んだり、社員であったり、農林水産業に従事しながら、火災や地震などの自然災害があれば、いち早く現場に駆けつけ、人命救助や消火、復旧活動などを行ないます。

倶知安での災害出動は、火災出動、山菜時期の行方不明者の捜索、強風時の破損家屋の対応、大雨による尻別川増水時の水防対策等災害発生時には招集されます。私の任務は火災発生時には機関員として消防車を出動させ、消火栓などから火災現場に近い消防車に水を送る重要な役目を担っています。「私がミスをしたら消火作業中の先端の放

水が止まってしまおう」そんな緊張感の中、消防ポンプを操作しています。夜中の火災出動で夜が明け帰宅したこともありません。そして朝帰宅しても普通に本業の仕事に戻ります。団員は皆不眠でも事故なく的確に動くのです。それも日々の訓練の成果であると思います。

私は昨年秋季に北海道消防学校へ入校し、3日間の幹部研修を受けてまいりました。その中の講義で東日本大震災での消防団災害出動事例等のお話を聞かせていただきました。我々消防団員は災害発生時の迅速な対応が重要であることは勿論であるが、災害が鎮静化した後の復旧活動や行方不明者の捜索活動等にも訓練を受けた人材としての重



(原文のまま)

要な任務がある。そしてなにより家族を支える一家の大黒柱でもあり、消防団員は災害時には決して命を失ってはいけないという講義であった。

我々消防団員は訓練を重ね、自分の体と命は自分で守らなくてはならないという使命の基、活動しなくてはならないと思っております。私はこの町で生まれ育ったのだから、この町を守りたいから、ここに住んでいる人を助けたいから、そのような思いで暑い日も雪の日も日々訓練に精進しております。

議長室からこんにちは

行水(夏)の

捨てどころなし

虫の声(秋)



一句に季語を一つ詠み込むのが作法ですが、二つ以上の季語を詠み込んだ場合、これを季重なりと言います。複数の季語が用いられると季節感がぼやけてしまうので、嫌うそうです。でも何とも素敵な句だと思いませんか。

- 4、一人ひとりがテーマを持って
- 5、いいことは仲間をやって行動せよ
- 6、「二人寄れば文殊の知恵」大切にせよ
- 7、最初から行政に頼ることは考えるな
- 8、失敗は成功の母だ 気にするな
- 9、異業種との交流は大切だ
- 10、トップは何でも一人で抱え込むな

じゃが祭りも終わり、火花を見ているみんなから「これで今年の夏も終わりか」とため息がそつと聞こえてきました。今年のじゃが祭りは晴天に恵まれ、多くの人もどこからとなく押し寄せ大成功のイベントでした。

日本を代表する銀座数寄屋橋公園での「真夏の東京銀座巨大雪ダルマ」作戦は、平成2年を皮切りに平成21年の開催を最後に20年間開催した大イベントでした。その間、東京代々木で「北海道フェア」、JALと提携した沖縄金武町などでの「雪ダルマ」は衛星放送で世界へ発

- 1、自分の「まち」に愛情を持って
- 2、一歩前へ出る気概があるか
- 3、評論家で終わるなら最初からやるな

中秋の名月を愛でる十五夜のお月見、今年も農作物が豊作で災害の少ない心地良い秋です。議会も多くの皆さんのご意見を反映できるように議会の改革に取り組んでいます。

倶知安町議会議長

鈴木 保昭